

豊平区ネットワーク会議

ニュース

2016年
(平成28年)
1月発行
第2号

「おもてなし部会」 を初開催

12月17日(木)、豊平区ネットワーク会議「おもてなし部会」が初開催され、住民組織や経済団体など35人が参加し、「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015」に掲載される「TOYOHIRA『おもてなし特区』推進事業」の展開をはじめ、今後の部会運営などについて協議しました。

豊平区ネットワーク会議は、地域のまちづくりの中

核を担う町内会連合会をはじめ、区内で活動する各団体が一体となって情報共有や意見交換を行い、区政運営に反映させていく場として平成23年に設置され、豊平区の区民協議会として位置付けられています。

地域の多様な取り組み を活発に意見交換

このほど新設された「おもてなし部会」は、会議の運営体制を見直す一環とし



挨拶する戸崎良英 部会長(上)
と三井一敏 豊平区長(下)

て、開催回数を増やし、より掘り下げた議論を可能とするためのもの。まちづくり戦略ビジョンに掲げられた「区民協議会の活性化」も視野に入れています。

会議のはじめに、福住地区町内会連合会長である戸崎良英(とぎき・よしひで)部会長が参加者に部会の新設に至るまでの経緯を説明。続いて、三井一敏(みつい・かずとし)豊平区長は、金沢を訪れた知人が、街行く多くの市民から自然体で歓迎の言葉を掛けられて感激したというエピソード

豊平区のまちづくりについての情報をお届けします



住民組織や経済団体などの関係者 35 人が出席

ソードを紹介し、「観光都市・金沢のように、市民のおもてなし力により、訪れた人をたちまち魅了してファンにする、そうした街を目指したい」と所信を述べました。

議題に入り、まずは区役所から事業の枠組みについて、「冬季オリンピックの招致を見据え、地域の機運の醸成と活性化を図るため、豊平区を来訪する方々に対し、地域・企業・商店街等が連携して、さまざま

なおもてなしの取り組みを展開していきたい」という説明がありました。

続く意見交換の場において、各団体からの地域の現状についての報告を中心に、「子どもの斬新なアイデアと行動力の活用」や「伝統文化を中心に据えた留学生との交流」、「国道36号の環境整備」といった観点での前向きな提言もありました。

最後に、この部会を中心に、地域の多様な取り組みをすり合わせしながら、区を挙げて大きな事業に発展させていくことを全体で確認しました。

【キーワード】

豊平区職員プロジェクト

採用1〜4年目の若手職員を中心に構成。本来の職務にとどまらず、区役所の事業推進や組織横断的な取り組みを自発的に行っています。

TOYOHIRA「おもてなし特区」推進事業の概要

おもてなし憲章の制定

冬季五輪に向けた息の長い取り組みとしていくため、その拠り所として、子どもも親しめるような「憲章」を制定。区民の共通認識として確立していきます。

食の新定番の開発・活用

豊平の歴史や文化を踏まえながら、TOYOHIRAの「新定番」「ご当地もの」等を開発。その共通ルール等を公開し、市内の協力店を拡大していきます。

区民運動の展開

憲章の制定後は区民運動を本格化。担い手の育成、街並みづくりなど、地域の取り組みを拡大していきます。

今後は、おもてなし部会に、大学生・留学生、豊平区職員プロジェクト(上記の囲み記事を参照)のメンバーらで構成する「ワーキンググループ」を設置し、事業へのアイデア出しをはじめ、原案の作成等を行っていきます。検討内容は適宜、部会へ報告し、意見等を反映させていく考えです。

発行 豊平区ネットワーク会議事務局 (豊平区市民部総務企画課)

〒062-8612 豊平区平岸6条10丁目 電話 011-822-2405 FAX 011-813-6585